

第11回特別展

館蔵名品展 秘蔵の至宝を一堂に展示

神戸市立博物館は、昭和57年11月3日に開館し、調査・研究を積み重ねながら、多くの特別展を開催し、また、企画展・常設展示などを行い、館蔵資料の紹介、普及に努めてきた。

当館の館蔵資料は、桜ヶ丘出土銅鐸・銅戈を含む考古資料、南蛮美術を中心とする美術資料、古地図資料など約2万点をかぞえ、そのなかには国宝1件21点、重要文化財4件71点を含んでいる。

本展ではユニバーシアード神戸大会の開催にちなみ、これら館蔵品のうち名品・優品を展観した。

会期／昭和60年8月24日（土）～9月23日（月）

会場／特別展示室1・2、南蛮美術館

主催／神戸市立博物館、神戸市教育委員会、神戸新聞社、サンテレビジョン

開館日数／29日

入館者数／9, 311人

出品件数／101件206点



※この図録は完売いたしました。この増訂版である展覧会図録については、[こちら](#)をご覧ください。



風流無くてななくせ 葛飾北斎画